

菓子店の鈴木栄光堂に出資

政投銀・十六銀のファンド

日本政策投資銀行と十六銀行などが出資するファンドが菓子会社、鈴木栄光堂（岐阜県大垣市）の優先株を引き受ける。

ファンドを設立。成長が見込まれる航空機産業のほか、販路拡大や設備投資の資金を必要とする中堅・中小企業に資金供給

する目的がある。総額は30億円で、今年度は5件、10億円程度の投資を見込む。優先株や劣後ローンなどの形にすることで、企業は経営の独立性を維持しながら資本性の高い資金を調達できる。

引受額は明らかにしていないが、2億〜3億円とみられる。M&A（合併・買収）などの成長資金を供給し、投資先の競争力の強化につなげる。

鈴木栄光堂は1877年の創業で資本金が5千万円。菓子製造・卸売りのほか、輸出にも力を入れている。近年は中小の同業のM&Aなどで規模を拡大しており、今回の調達資金もこうした目的で使われるとみられる。

政投銀と十六銀、十六リースは今年1月に投資